



P.16～20 確認問題 A～E

P.16 確認問題 A

- (1) ア (2) ウ (3) ユ (4) イ

P.17 確認問題 B

- ① (1) stays (2) has (3) carries (4) catches

- ② (1) ア (2) ウ (3) ア (4) ① イ ② イ

P.18 確認問題 C

- ① (1) called (2) said (3) had
(4) studied (5) took (6) met

- ② (1) イ (2) イ (3) ウ (4) ウ

P.19 確認問題 D

- ① (1) teaching (2) using (3) beginning
(4) putting (5) riding (6) studying
(7) cutting (8) swimming (9) dying
- ② (1) am eating (2) are playing (3) is making
(4) was washing (5) were helping (6) are running

P.20 確認問題 E

- (1) Be (2) Don't (3) Please (4) Let's

【解説】

確認問題 A

- (1) 主語が He and I で複数なので, be 動詞は are を使う。
(2) yesterday, (3) last Sunday があるので過去文。be 動詞は過去形を使う。
(4) There is[are] ～. の文。many cards が複数なので are を使う。

確認問題 B

- ① (2) have → has と特別な変化をする。
- ② (1) 主語が Ken and Koji で複数なので, 動詞は変化しない。
(2) 主語は your mother で 3 人称・単数。一般動詞 like があるので, 疑問文は〈Does+主語+動詞の原形～?〉の形。
(3) doesn't のあとの動詞は原形にする。
(4) 「彼女は自由な時間があるとき, 何をしますか。」という意味。①の do は「する」という意味の動詞。

確認問題 C

- ② (1) when 以下が過去なので過去形。
(2) didn't のあとの動詞は原形。
(3) last night があるので, 過去文。sleep は一般動詞なので, 〈Did+主語+動詞の原形～?〉の形の疑問文にする。
(4) 過去のことについて答えるので過去形。

確認問題 D

- ② 主語や時制によって be 動詞を使い分ける。
(4)・(5) 過去文なので過去進行形〈was[were]+動詞の ing 形〉に。

確認問題 E

- (1) be 動詞の命令文は am, are, is ではなく, 原形の be を使う。

P.21 STEP 1

- 1** (1) are (2) Is (3) is (4) are (5) are (6) are (7) are / am
2 (1) ア (2) イ (3) イ (4) ウ (5) ウ
3 (1) isn't (2) aren't (3) was (4) were (5) ① Is Jane ② she is / she isn't[she's not]
4 (1) A (2) B (3) B (4) C (5) A (6) C

【解説】

- 1** (2) 〈主語＋be 動詞＋形容詞.〉の文の疑問文。
 (3)・(4) There is[are] ～. の文。(3) は a small pond が単数なので is, (4) は a lot of convenience stores が複数なので are を使う。
 (5) 主語 these は this の複数形。「これらはだれのノートですか。」
 (6) 主語は Brown and Terry で複数。
 (7) 「あなたは何歳ですか。」「21歳です。」
- 2** (1) when you called me が過去のことなので、過去形の be 動詞を選ぶ。
 (3)・(5) (3) yesterday, (5) ten years ago は過去を表す語句。
 (4) There are ～. の疑問文。〈how many＋名詞の複数形〉は数をたずねる表現。「あなたのクラスには何人の生徒がいますか。」
- 3** (1) is not = isn't, (2) are not = aren't。
 (3)・(4) last ～, ～ago は過去を表すので、be 動詞を過去形にする。
 (5) ① 疑問文は be 動詞を主語の前に置く。 ② 答えの文の主語は代名詞(she)を使う。
- 4** (1)・(5) [s, ʃ, tʃ] 以外の無声音のあとは [s] の発音。
 (2)・(3) [z, ʒ, dʒ] 以外の有声音のあとは [z] の発音。
 (4)・(6) [s, z, ʃ, tʃ, ʒ, dʒ] の音のあとは [ɪz] の発音。

P.22

- 5** (1) イ (2) イ (3) ア (4) ア (5) ウ (6) ア
6 (1) washed (2) studied (3) made (4) read (5) bought
 (6) met (7) lived (8) wrote (9) saw
7 (1) A (2) B (3) C (4) C (5) B (6) B (7) A (8) B (9) C
8 (1) ① Does your father come home late every day? ② he does / he doesn't
 (2) The children don't[do not] like this soccer player.
 (3) ① Did Ann play the piano last night? ② she did / she didn't
 (4) She didn't[did not] go to the fast food restaurant yesterday.

【解説】

- 5** (1) My father, (2) Ms. Hall が主語で 3 人称・単数なので、動詞は s, es のついた形。
 (4)～(6) 主語が 3 人称・単数である一般動詞の否定文・疑問文には does を使い、動詞は原形にする。
- 6** (1)～(6)・(8)・(9) last ～「この前の～」, yesterday 「昨日」, ～ago 「～前に」などは過去を表す語句だから、動詞は過去形にする。
 (7) when 以下が過去のことを表すので、過去の文。
- 7** (1)・(7) [t] 以外の無声音のあとは [t] の発音。
 (2)・(5)・(6)・(8) [d] 以外の有声音のあとは [d] の発音。
 (3)・(4)・(9) [t], [d] の音のあとは [ɪd] の発音。
- 8** (1)・(2) 一般動詞・現在の文。(1)は主語が 3 人称・単数なので、does[doesn't]を使う。
 (3) played は play の過去形なので、疑問文は〈Did＋主語＋動詞の原形～?〉。答えるときも did[didn't]を使う。
 (4) went は go の過去形なので、否定文は〈didn't[did not]＋動詞の原形～〉。

- 9** (1) is looking (2) are dancing (3) were helping
 (4) Was, carrying (5) was using
- 10** (1) ① Is Mr. Brown talking on the phone?
 ② he is / he isn't[he's not]
 (2) The girls weren't[were not] writing New Year's cards.
 (3) What was he looking at?
- 11** (1) ① Write ② Please write ③ Don't write
 (2) ① Be ② Please be
- 12** (1) ア (2) ア (3) イ (4) ウ

【解説】

- 9** (2) 主語 A lot of people は複数。
 (3) helped, (4) Did, (5) used は過去形なので過去進行形に。
 (5) 主語の疑問詞 who は 3 人称・単数扱い。
- 10** (1) 進行形の疑問文は be 動詞を主語の前に置く。
 (2) 進行形の否定文は be 動詞のあとに not。
 (3) 「彼は何を見ていたのですか。」という, what で始まる疑問文に。look at ～「～を見る」の at が文末に残ることに注意。
- 11** (1) ②・(2) ② 〈Please＋動詞の原形～.〉の文。
- 12** (2) 〈動詞の原形～, please.〉＝〈Please＋動詞の原形～.〉「～してください。」
 (4) 〈命令文..., or ～〉「…しなさい, さもないと～。」

P.24 STEP 2

- 1** (1) ア (2) ウ (3) ウ (4) イ (5) エ (6) エ (7) イ (8) イ
- 2** (1) (g)oes (2) (b)ought (3) (k)now
- 3** (1) heard (2) doing (3) has (4) left (5) Did

【解説】

- 1** (1) 主語 Ken and I は複数なので, be 動詞は are を使う。
 (2) be 動詞 is があるので, 現在進行形にする。
 (3)・(5) when ～が過去なので, 過去の文。(5) teach は不規則動詞。
 (4)・(7) yesterday 「昨日」があるので過去の文。
 (6) There were ～. の疑問文。how many people は複数。ten years ago から過去の文。
- 2** (1) 主語が 3 人称・単数で現在の文なので, go 「行く」は goes となる。
 (2) buy 「買う」は不規則動詞。
 (3) 一般動詞の疑問文の場合, 動詞は原形を使う。
- 3** (1)・(4) did を使った過去の疑問文なので, 答えの文の動詞は過去形にする。ともに不規則動詞。
 (2) 現在進行形の文。
 (3) 「あなたの町にはいくつの学校がありますか。」「私の町には 4 つの学校があります。」という文。「私の町は 4 つの学校を持っています。」と have を使って答える。主語が 3 人称・単数なので, has になる。
 (5) 「そうですか。」と相づちを打つときは, be 動詞・助動詞の文→〈be 動詞[助動詞]＋主語?〉, 一般動詞の文→〈Do[Does, Did]＋主語?〉を使う。

- 4** (1) ア (2) ウ (3) ア (4) エ (5) イ
5 (1) エ (2) ア (3) イ
6 (1) It rains (2) There are (3) Lend, please (4) wrote

【解説】

- 4** (1) A が「私に水を1杯ください。」と依頼し、B が「ちょっと待ってください。」と言っているの、依頼に応じているとわかる。All right. 「わかりました。」
 (2) A が「ケンの誕生日を知っていますか。」とたずね、B が「教えてください。」とお願いしていることから、B はケンの誕生日を知らないとわかる。No, I don't. 「いいえ、知りません。」
 (3) 「パスポートを見せてください。」と頼まれて、Here you are. 「どうぞ。」とパスポートを差し出している。
 (4) あとで A が「彼女はかばんを作るのがとても上手だね。」と言っているの、祖母が作ってくれたと言っている B が答えになる。
 (5) 「あなたのお姉さんは大学生ですか。」に対して、「彼女は九州の大学で歴史を勉強しています。」と答えているので、Yes の答え。be 動詞の疑問文なので is を使う。
- 5** 会話の流れが自然になるよう順序を考える問題。
 A: (1) マイクは学校でサッカーを練習しているのですか。 B: (2) いいえ、していません。 A: どこで練習しているのですか。 B: (3) 公園です。
- 6** (1) 「日本では6月にたくさん雨が降ります。」天候を表すときの主語 it を使った文にする。rain には名詞と動詞の用法がある。
 (2) 「私たちの町は2つの大きな公園を持っています。」→「私たちの町(の中)には2つの大きな公園があります。」
 (3) 「あなたの自転車を私に貸してくれませんか。」→「どうかあなたの自転車を私に貸してください。」
 (4) 「この本の作者はだれですか。」→「だれがこの本を書きましたか。」 write 「書く」は不規則動詞。

- 7** (1) Are there any balls (2) Leave home at eight
 (3) My brother is looking at the picture (4) Who usually cooks dinner
 (5) you didn't go back to
- 8** (1) My father gave me an interesting book. / My father gave an interesting book to me.
 (2) What are you doing now?
 (3) (Please) Send her this picture[photo] / (Please) Send this picture[photo] to her
- 9** ① [例] Miho is watching TV. / Miho is eating an apple.
 ② [例] There is a clock on the wall. / There are three books on the table.
 ③ [例] There is a cat on the chair. / A cat is sleeping on the chair.

【解説】

- 7** (1) There are ～. の疑問文。
 (2) 「～しなさい」という命令文なので、動詞の原形で始める。
 (3) 現在進行形の文。
 (4) 疑問詞 who が主語の一般動詞の疑問文では、do/does/did は使わず、動詞を主語(who)のすぐあとに置く。このとき動詞は活用形(3単現の形 / 過去形)を使うことに注意。usually(頻度を表す副詞)はふつう一般動詞の前、be 動詞のあとに置く。
 (5) go back to ～で「～へ帰る、戻る」。
- 8** (1) <give+(人)+(物)>=<give+(物)+to+(人)>で「(人)に(物)を与える」。
 (2) この場合の doing の do は「する」の意味の一般動詞。

- 9 ① Miho が何をしているかを絵から読みとって書く。現在進行形を使う。
 ② there is[are] ～を使って、何があるかを説明する。ものが単数なら is, 複数なら are を使う。
 ③ a cat の様子を表す。

P.27 読解問題

- 問1 ① thought ② come ③ Be ④ beginning
 問2 エ
 問3 has
 問4 〔例〕 I am good at soccer and often play in a big game. /
 I always try to be kind to other people. /
 I have a lot of friends and we always help each other. /
 I am interested in many things and study about them hard.

【解説】

- 問1 ① 過去の出来事について述べている文の続きなので過去形にする。think は不規則変化の動詞。
 ②・③ 主語がないので、命令文と判断できる。
 ④ Now と be 動詞(am)があるので、進行形にする。
 問2 ア「佐藤先生は恵美のクラスに英語を教えています。」本文1行目より国語の先生だとわかる。
 イ「佐藤先生は恵美に『おばあさんの手助けをしに行きなさい』と言いました。」
 ウ「恵美は自分の長所の1つがわかってあまりうれしくありませんでした。」
 エ「恵美は将来ほかの人々を手助けするために働きたいと思っています。」本文14～15行目。
 問3 「なぜそのおばあさんは今、幸せなのですか。」「話をする人がいるからです。」本文7～8行目参照。
 以前は「話す人がいなかった」(she had no one to talk with)が、今は恵美が訪問していることから、「話す人がいる」(she has someone to talk with)と言える。
 問4 与えられたテーマについて自由に書く問題。自分が得意なことや心がけていることなどを書くといよい。

《全訳》

ある日、国語の先生である佐藤先生が「自分の長所について書きなさい。」と私たちに言いました。「自分の長所？」と私は思いました。「私に長所なんてないわ。」勉強は得意じゃないし、スポーツだって得意じゃない。私は自分に自信がなかったのです。だから私は「ありません。」と書きました。

佐藤先生はそれを読んで「恵美さん、授業のあと、職員室に来なさい。」と言いました。私が先生に会いに行くと、先生は「きみにはたくさんいいところがあるじゃないか。自分ではわからないだけだよ。」と言いました。「どういう意味ですか、佐藤先生。」と私はたずねました。

先生は、「きみは放課後にお年寄りの女性を訪ねて、話し相手になってあげているよね。そのおばあさんは以前、だれも話す人がいなかった。でも、今ではきみが訪ねてくるから喜んでいるんだよ。きみはそのおばあさんの手助けをしているってことだよ。」

と言いました。私は、「おばあさんの手助けをしているとは思いません。私はおばあさんのところに行きたいから行っているだけなのですから。」と言いました。

佐藤先生はほほえみ、言いました。「きみはあのおばあさんの手助けをしていると思わないかもしれないが、今ではきみはあのおばあさんにとって大切な存在なのだよ。」私はそれを聞いてうれしくなりました。「私はおばあさんにとって大切な存在なんだ。」佐藤先生は「きみはやさしい心の持ち主だよ。それがきみの長所の1つだよ。恵美さん、自分に誇りを持ってね。」と言ってくれました。

佐藤先生と話をしたあと、私は少し自信が持てるようになりました。勉強やスポーツでも最善を尽くすようになりました。今では、将来、ほかの人たちの手助けをするために働きたいと考え始めています。